

2017年度 事業報告

自 2017年6月1日至 2018年5月31日

1) 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会プレスセミナー（東京）

2017年7月27日～29日に神戸にて開催された第15回学術集会に先駆けて、主に報道機関関係者を対象に、がん領域のスペシャリストが日本臨床腫瘍学会学術集会のアウトラインや各領域のトピックスについて分かりやすく解説し、報道機関担当者に対してがん薬物治療の最新情報を提供するとともに、当会の活動を広く社会へ開示し、一般市民へ最新のがん治療についての情報発信をするために実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2017年6月28日(水)
会場 : 国際研究交流会館3階 国際会議場
対象者 : 全国紙・通信社・放送・雑誌記者, ジャーナリスト, 厚労省担当
募集方法 : 当会ホームページ, チラシ
参加料 : 無料
参加者数 : 143名

2) 日本臨床腫瘍学会市民公開講座（岡山）

国内のがん薬物療法のエキスパートが、一般市民に対し分かりやすくがん薬物療法に関する最新情報を提供するほか、がん患者や家族との交流を通じて、がん及びがん治療に関する正しい知識を普及するために実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2017年7月1日(土)
会場 : 岡山大学 鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall(Jホール)
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能
募集方法 : 当会ホームページ等
参加料 : 無料
参加者数 : 128名

3) Best of ASCO 2017 in Japan（東京）

ASCO(米国臨床腫瘍学会)年次総会で発表された世界の最新の臨床腫瘍学及びがん治療に関する情報を、国内のがん薬物療法のエキスパートが論評し、参加者を交え討議する教育プログラムであり、本プログラムを通じ、日本の医療技術の向上とともに、がん患者に対するより高度な薬物治療の実践に寄与することを目的として実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会(JSMO), 米国臨床腫瘍学会(ASCO)
会期 : 2017年7月8日(土)～9日(日)
会場 : 東京ビッグサイト
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ, チラシ, ポスター
参加料 : 会員 21,600円 非会員 37,800円
参加者数 : 633名

4) 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会（神戸）

がん医療分野に関する幅広い研究内容と最新の技術等を発表する場として学術集会を開催している。学術集会では国内外から多くの専門家を招聘し、がん治療及び研究・技術に関する最先端かつ幅広い情報を発信することにより、日本のがん薬物療法の向上及びがん患者に対するよりよい治療に寄与することを目的として実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2017年7月27日(木)～29日(土)
会場 : 神戸国際展示場・神戸国際会議場
会長 : 谷本 光音(岡山大学病院)
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能
募集方法 : 当会ホームページ, チラシ, ポスター等
参加料 : 会員医師/企業 16,000円, 会員メディカルスタッフ 8,000円, 非会員医師/企業 31,000円, 非会員メディカルスタッフ 10,000円, 患者団体 3,000円
参加者数 : 6,754名

5) 第30回教育セミナーBセッション（神戸）

がん薬物療法専門医資格取得のために必要な知識の教育を目的とし、がん薬物療法の標準治療に関する講演を通じ、質の高いがん薬物治療を臓器横断的に実践できる医師の育成とがん薬物療法に関する幅広い情報の発信のために実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2017年7月30日(日)
会場 : 神戸国際展示場
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ
参加料 : 会員 10,800円 非会員 27,000円
参加者数 : 524名

6) がん薬物療法専門医認定に関する事業

専門医によるがん医療の実践により、がんの治療率や生存率の向上を図るため、がん薬物療法に関する豊かな学識と臨床技能を有した医師を「がん薬物療法専門医」として認定した。

- ◆第13回がん薬物療法専門医資格認定試験
申請期間:2017年5月15日(月)～8月10日(木) 試験日:2017年11月18日(土)～19日(日)
- ◆第8回がん薬物療法専門医資格更新試験
申請期間:2017年5月15日(月)～8月10日(木) 試験日:2017年11月18日(土)
- ◆指導医・暫定指導医・認定研修施設の審査
申請期間:2017年6月1日(木)～8月25日(金)

7) 第31回教育セミナーAセッション（横浜）

がん薬物療法専門医資格取得のために必要な知識の教育を目的とし、がん薬物療法の標準治療に関する講演を通じ、質の高いがん薬物治療を臓器横断的に実践できる医師の育成とがん薬物療法に関する幅広い情報の発信のために実施した。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2018年3月10日(土)～11日(日)
会場 : パシフィコ横浜
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ
参加料 : 会員 21,600円 非会員 37,800円
参加者数 : 538名

8) がん薬物療法における必要な知識およびエビデンスの調査事業

がん薬物療法の向上の促進及びがん患者に対するよりよい治療に寄与するため、委員会等にて「がん薬物療法における必要な知識向上とがん治療の実績分析等調査」を実施する。

なお、2015年度よりの変更として、既存のエビデンス調査事業をガイドライン等にて積極的に公開するために一部内容変更等を行い実施した。

9) その他目的達成に必要な活動

①JSMO Young Oncologist Preceptorship (シンガポール)

がん薬物療法専門医に対する教育事業(Advanced Course)の一環として、将来の臨床研究リーダー候補となる若手医師の育成を目的とし、日本、シンガポール、台湾、韓国、ベトナムの5カ国の若手研究者が集まり、プレゼンテーションやグループワークを中心に、シンガポールにて実施した。

開催回数	: 年1回
主催	: 日本臨床腫瘍学会
会期	: 2017年12月8日(金)～10日(日)
会場	: Hotel Fort Canning
対象者	: 50歳以下の医師会員
募集方法	: 当会ホームページ
参加料	: 無料
参加者数	: 15名

②JSMO/ASCO Young Oncologist Workshop 2018 (東京)

ASCO(米国臨床腫瘍学会)との共同事業として、将来の臨床研究リーダー候補となる若手医師の育成を目的とし、レクチャー、研究発表、グループワークを通じ、研究計画のブラッシュアップや国際学会でのプレゼンテーションスキル向上のために実施した。

開催回数	: 年1回
主催	: 日本臨床腫瘍学会
会期	: 2018年2月9日(金)～10日(土)
会場	: 東北大学東京分室・北海道大学東京オフィス・東京大学先端科学技術研究センター分室
対象者	: 39歳以下の医師会員
募集方法	: 当会ホームページ
参加料	: 無料
参加者数	: 30名

③日本医療研究開発機構革新的がん医療実用化研究事業 (AMED)

AMED委託事業として、ゲノム医療にかかわる医師・看護師・薬剤師等の育成を目的とし、講義とグループワークを通じ、がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断教育のために実施した。

④厚生労働省委託事業 がんのゲノム医療従事者研修事業

厚生労働省委託事業として、がんのゲノム医療の実用化に必要な医療従事者の育成を目的とし、がんのゲノム医療に関する遺伝子関連検査、患者・家族への伝え方、多職種との連携、意思決定支援等について必要な知識・態度・技術の習得のため、マニュアル作成と研修会を実施した。